

法人（事業所）理念

ファミリー・キッズ平塚1では、お子様、ご家族お一人おひとりに寄り添い、スモールステップで、小さな「できた!」を、みんなで一緒に喜び★自己価値「感」★が芽生えるような支援を心がけております。 【 知に学び、友に遊び、共に育み、ともに生きる 】

支援方針

子供の個別のニーズに合わせて合わせて発達や行動の各領域で適切な支援を提供していきます。
児童発達障害は発達の遅れや偏りがある為、「認知」「社会性」「感情」「運動」日常生活」の5領域での支援方法を考慮しながら支援を行っていきます。

営業時間

放デイ / (登校日) 10:00-17:00 (休校日) 9:00-16:00 見発/9:00-15:00

送迎の実績 有

学校・ご自宅 送迎

健康・生活

日常生活の中で身につけるべき基本的なスキルが身に付く事が出来る様になります。
・生活習慣の指導：おやつや準備や片付け、身の回りの整理整頓など、日常的な活動を習慣として教えます。
・時間管理：スケジュール管理：スケジュール表やタイムーを使って時間の使い方を立てる練習をします。
・自立支援のためのアプローチ：着替えやトイレの使い方など、自分で出来る事を増やして行くための支援を行っていきます。
これらの支援を行います子供一人ひとりの発達の特徴や困難さに合わせて調整を行い、支援者（保護者、教師、療育スタッフ）と連携を行いながら子供の発達をサポートし効果的な支援を行っていきます。

運動・感覚

運動機能の発達に遅れが見られるお子様に運動能力や身体的な発達を促していきます。
粗大運動（大きな筋肉を使う運動）走る、飛び、ボールを投げるなど
精密運動（細かい動きの練習）お絵描き、積み木遊び、パズルなど手先を使う活動を行い手先の器用さを育みます。

本人支援

認知・行動

認知的領域：
学習能力や記憶、視覚的支援：
視覚的支援：
具体的な指示では言葉の指示は抽象的になりがちなので具体的な指示を行います。手順化、繰り返し学習は学習内容を繰り返し練習する事で記憶や理解を深めます。
感情のコントロールや理解を助ける為の支援として感情を適切に表現したり調整したり出来るように支援していきま。

言語
コミュニケーション

感情の名前を学ぶ：子供に感情の名前を教え、感情を認識できるようにします。「今、怒っているね」「悲しい気持ちだね」と言葉で感情を表現します。
・リラクゼーション法：深呼吸やリラクゼーション法でできる時間を落ち着ける方法を学びます。
・感情の表現をサポート：絵やおもちゃを使って感情を表現したり、感情を描く事で自分の気持ち理解させます。

人間関係
社会性

社会的なスキルや対人関係の築き方を学ぶ為以下に以下の支援を行います。
ソーシャルスキルトレーニング（SST）：具体的な状況を模した練習を通して、挨拶や感謝の気持ちの表現、問題解決の方法を学びます。
模倣やロールプレイ：他社の行動を模倣したり、役割を演じることでコミュニケーション能力を育みます。

家族支援
きょうだいへの支援

・保護者向けの相談・支援、きょうだい児に関する相談等プログラム
・育児に関する相談等面談を通し家庭でできる支援の提案とアドバイス

主な行事等

子どもの日の集い・お誕生日会・運動会・クリスマス会・・・

移行支援

・小・中・高校や保育園・幼稚園との連携
・就学準備プログラムの実施
・進路相談と関係機関との調整



地域支援・地域連携

・地域の子育て支援機関との連携や地域イベントへの参加・共催
・ボランティアや実習生の受け入れ

職員の質の向上

・定期的な研修・勉強会の開催
・専門機関との連携によるスキル向上
・スタッフ同士のケースカンファレンスの実施